

船井美佐

「楽園／境界～いつかいた場所～」



船井美佐 《楽園／境界》、右部分 《Mountain / Mother》 ミクストメディア、2014年、東京都現代美術館、撮影：木奥恵三

【展覧会概要】

展覧会名 船井美佐「楽園／境界～いつかいた場所～」
日 時 2017年7月25日（火）-9月10日（日）10:00-18:00 会期中無休、入場無料
会 場 国際芸術センター青森 ギャラリーA
主 催 青森公立大学国際芸術センター青森
助 成 平成29年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業
協 力 AIRS、ターナー色彩株式会社

【お問い合わせ】

青森公立大学国際芸術センター青森
〒030-0134 青森市合子沢字山崎152-6
TEL: 017-764-5200 FAX: 017-764-5201 ホームページ：<http://www.acac-aomori.jp>
担当学芸員：金子由紀子 kaneko@acac-aomori.jp

【展覧会について】

一貫して絵画表現を探求する船井美佐の個展です。2007年に国際芸術センター青森[ACAC]で開催した秋のアーティスト・イン・レジデンス「裏糸」に参加した船井がその後の10年で展開してきた作品が一堂に会し、船井の活動を振り返る重要な機会となると共に、滑り台型や木馬型の体験を通して鑑賞する作品も登場します。子供から大人までがそれぞれのやり方、感じ方で楽しむことができる展覧会です。

【見どころ】

＜船井美佐のこの10年の活動を概観＞

船井は2007年にACACで開催した秋のアーティスト・イン・レジデンス「裏糸」に参加したアーティスト4人のうちの1人であり、当時は壁画や映像、絵画の解体をコンセプトとした立体作品などを制作し、一般的に考えられている絵画とは異なるアプローチを探っていました。本展はそれからちょうど10年後の個展となります。当時と同様「絵画」という軸はそのままに、2007年以降に制作したドローイング、鏡を壁面に配置した作品、展示空間全体をキャンバスに見立てた作品など、船井がこの10年で試みてきた表現を概観できる機会となります。



《ひつじのみるゆめ》 風料、紙、パネル、2007年

＜子供も大人も一緒に楽しむ＞

船井は現在子育て真っ最中という自身の生活から、近年は子供も一緒に楽しめる作品制作を試みており、本展では長さ約10m、幅約4m、高さ約5mの大型の滑り台型の作品や木馬型の作品を出品します。これらは単に子供が遊んで楽しむだけのものではなく、子供が遊ぶことも作品の一部として取り込まれます。作品の中で遊ぶ子供を見る大人たちは、かつて子供だった自分のことや、子供が持つ直感的・本能的な感覚を思い出すかもしれません。滑り台型の作品は大人も体験することができますので、ご家族と一緒に楽しむことができます。

＜様々な形の芸術体験＞

来館者の方は、作品と相対して見つめ合うように鑑賞するようなドローイングの作品や、遊具のように体験する作品、鏡に映る自分や周囲の風景も含めて見るような作品など、展覧会の中でも様々な作品鑑賞の形を体験することになります。それに加えて、会期中は船井さんが作ったスタンプを集めながらACACの野外彫刻を鑑賞するスタンプラリーや、大きなキャンバスに絵を描くワークショップ、モビールを作るワークショップなど、様々な関連イベントを予定しています。見るだけではなく、身体を動かしたり自分でものづくりをしたりと様々なやり方で芸術の世界に浸ることができますので、普段美術館や展覧会に行く習慣がない方でも気軽に楽しむことができます。



《Cave / Explosion》 ステンレスミラー、2014年、撮影：木奥恵三

＜美術と社会を考える＞

青森県内では2020年に八戸市美術館がリニューアルし、弘前市でも美術館が整備される予定です。既存の青森県立美術館や十和田市現代美術館などと合わせて、青森県は美術を楽しむ環境が整いつつあるように見えますが、美術は敷居が高いと感じている方が多くいることも事実です。現代の日本社会で美術はどのような存在なのか、美術施設ではどのような取り組みができるのか、展覧会と関連イベントを通して考えていきます。展覧会最終日には美術と社会をテーマに船井美佐さんと、2014年に東京都現代美術館で子供向けの展覧会を企画した山本雅美さん（船橋市教育委員会学芸員・元東京都現代美術館学芸員）、本展担当学芸員の3人がトークセッションを行います。

＜アーティスト略歴＞

船井美佐

1974年 京都府生まれ

1996年 京都精華大学美術学部造形学科日本画科卒業

2001年 筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了

主な展覧会

2015年 個展「楽園／境界～どこにもない場所～」奈義町現代美術館、岡山

2015年 「こどもと旅する美術館」美ヶ原高原美術館、長野

2014年 「ワンダフルワールド～こどものわくわくいっしょにたのしもう みる・はなす・そして発見！の美術展～」東京都現代美術館、東京

2013年 「KAMIKOANI プロジェクト秋田 2013」旧沖田面小学校、秋田
「六甲ミーツアート芸術散歩 2013」六甲山ホテル、兵庫

2011年 「発信//板橋//2011」板橋区立美術館、東京

2010年 「VOCA展 2010 現代美術の展望－新しい平面の作家たち」上野の森美術館、東京、
同 2009年

2007年 「Sleep—Are You Awake?—」アートフロントギャラリー、東京
「裏糸 Under Thread 」国際芸術センター青森、青森

【関連イベント】

ワークショップ

■ 「いろのらくえん-丸と穴」

日時：7月29日（土）10:30-12:00、7月30日（日）13:30-15:00

会場：野外ステージ

対象：3歳以上の子供と保護者の方

定員：親子50名

参加費：無料

申込締切：7月25日（火）、定員に達しない場合は当日参加可。

講師：船井美佐

■ 「いろのらくえん—モビールづくり」

日時：9月9日（土）13:30—16:30

会場：創作棟ワークショップスタジオ

対象：3歳～成人

定員：20組

材料費：1セット 2000円

申込締切：8月31日（木）応募者多数の場合抽選

講師：船井美佐

■ 「森のスタンプラリー」

日時：会期中いつでも

場所：ACAC 敷地内

■ 「キッズ工作室」

日時：8月5日（土）10:00—12:00、8月20日（日）13:30—15:30

会場：創作棟ワークショップスタジオ

対象：どなたでも

参加費：無料

※出入り自由

講師：ACAC スタッフ

トーク

■オープニング・アーティストトーク

日時：7月29日（土）14:30—15:30

会場：ラウンジ、ギャラリーA、B

※申込不要、開始時刻に会場においてください。

■公開トークセッション「美術と社会—あなた／わたし／こども／おとな」

日時：9月10日（日）13:30—15:30

会場：展示棟ラウンジ

スピーカー：船井美佐×山本雅美（船橋市教育委員会学芸員、元東京都現代美術館学芸員）×金子由紀子（本展担当学芸員）

※申込不要、開始時刻に会場においてください。

【同時開催の展覧会】

アルバーノ・アフォンソ「浮遊する影と光」 会場：ギャラリーB